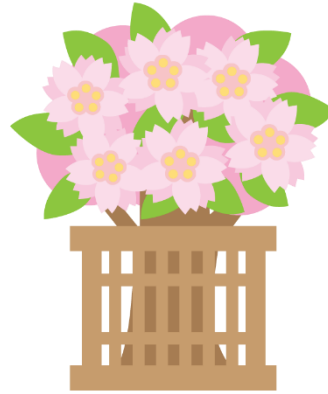


やすらぎ短信

令和3年
3月号

三月三日雛祭（ひなまつり）

●ひな人形の歴史



三月三日は雛祭です。この日は、五節句の一つであり、上巳（じょうし）の節句ともいいます。女の子がいるご家庭では、生まれた年の三月三日を初節句といひ、雛人形を飾って、お祝いを致します。この雛人形は、元々、お祓いの行事のために用いられました。日常生活で知らず知らずのうちに犯してしまった罪（つみ）、穢（けが）れを草木や紙でつくった人形（ひとがた）に移して、川や海に流して不浄をお祓いしたのがはじまりです。この草木や紙でつくった人形が次

第に豪華になり、今のように雛飾りとなりました。江戸時代初期には、男雛、女雛一対で立った姿勢の人形を飾る「立ち雛飾り」が主流でしたが、江戸時代後期には、宮中の雅な装束を正確に再現した古今雛（こきんびな）が現れ、大正時代中期には、今のように人形と道具を一式揃えた雛人形になりました。昨今では、住居の事情により、七段飾りではない、コンパクトなものが増えてきました。ちなみに左の写真は、昭和初期のもので、浦幌町博物館には、各時代のお雛様も展示しておりますので、見比べるのも楽しいかもしれません。



昭和初期のひな人形

春分の日・お彼岸



春分の日、昼夜の長さがほぼ等しくなる日で、中日（ちゅうにち）ともいいます。この日の前後三日間の計七日間を「彼岸（ひがん）」といいます。彼岸は昔より先祖に感謝を捧げ、供養をする日とされています。また、この日には、宮中でも春季皇霊祭（しゅんきこうれいさい）という歴代天皇の御霊をおまつりする祭典と春季神殿祭（しゅんきしんでんさい）という神恩感謝を捧げる祭典が行われます。神道は「敬神崇祖」（けいしんすうそ）という教えを大切にしております。「神を敬い先祖を崇める」という意味です。春分の日、神様、ご先祖様への祈りを大切にしてきた日本人の心を見つめ直す日にしたいものです。

社日祭

社日とは、一年に春秋の二回あり、春分の日、秋分の日それぞれ最も近い戌（つちのえ）の日をさします。この日に行われるのが社日祭です。土地の神様・農耕の神様をおまつりし、五穀豊穡と農作業の安全をお祈り致します。浦幌町内には、浦幌神社の境内に二基（元帯富・千歳の社日碑）、常室会館横に一基、万年神社の境内に一基、稲穂神社の境内に一基、養老地区に一基の社日碑があり、それぞれおまつりが行われています。



浦幌神社境内の社日碑

著書奉納

去る二月二十四日、ベストセラー作家の小野寺の一貴様より、新刊「妻は見えるひとでした」(扶桑社)の著書をご奉納いただきました。小野寺の一貴様は、龍神様についての著書が爆発的に大ヒットし、シリーズ累計二十五万部を超えるベストセラー作家です。以前発行された『日本一役に立つ！龍の授業』のなかで、乳神神社の信仰をご紹介いただいたご縁もあり、親交させていただいております。「コロナ禍で大変な今だからこそ、みんなに笑いと希望を届けたい」とのご本人からのメッセージもいただきました。ご奉納、心より感謝申し上げます。



車・オートバイのお祓い

交通安全祈願のご案内

新年度を迎えるにあたり、車やバイクを購入される方は、今後の安全のために、車両のお祓いと交通安全祈願をいたしましょう。神前で祈る



ことで、交通安全の志をより高めましょう。新車、中古車を問わず、お祓い致します。大型・特殊車両のお祓いは、ご希望であれば、神主が出張致します。

(ご予約) 〇一五・五七六・二四四八

浦幌神社行事予定

- 三月一日 月次祭
- 三月十五日 月次祭
- 三月下旬 春季社日祭

発行 浦幌神社社務所

北海道十勝郡浦幌町字東山町十八番地の一

電話 〇一五・五七六・二四四八